

V 国 際 交 流

本学では、みなさんに国際的な視野を持ってもらうため、協定校への交換留学をはじめとした、さまざまな留学の機会を用意しています。また、異文化理解や国際交流を目的とした学生団体やイベントもあります。学内は最も身近な国際交流の場です。日本人学生のみなさんも留学生のみなさんも、寮生活、ゼミ、サークル活動などの出会いを大切に、異文化交流を積極的に行ってください。

1 海外大学との交流 ～交流協定締結校紹介～

本学では、40 大学・機関と交流協定を締結し、学術研究交流や、英語教育・異文化理解科目とも関連づけた学生交流を進めています。

国際交流協定校等一覧

(2025年2月1日現在)

国	大学・研究機関	締結年月日	主な交流
アメリカ	私 シアトル大学	1998. 7. 1	学生交流【出雲C】
	公 セントラル・ワシントン大学	2000. 10. 8	留学(派遣)、海外短期研修
	公 イースト・カロライナ大学	2012. 5. 7	授業「異文化理解特別演習」
	公 ワナチ・バレーカレッジ	2014. 3. 4	留学(派遣)、学生交流
中国	国 北京大学 国際関係学院	2000. 10. 8	学術研究
	国 <small>ねいか</small> 寧夏大学	2004. 10. 11	留学(交流県による受入)、学生交流
	国 <small>ふくたん</small> 復旦大学 国際問題研究院	2005. 6. 10	学術研究
	国 <small>ぎつりん</small> 吉林大学	2000. 10. 8	留学(交流県による派遣・受入)
	国 吉林大学 東北亜研究院	2007. 5. 21	学術研究
	国 中国社会科学院 日本研究所	2007. 9. 20	学術研究
	国 中央民族大学	2010. 11. 9	留学(交換)、海外短期研修
	国 東北師範大学 東亜文明研究中心	2013. 9. 19	学術研究
	国 <small>あんき</small> 安徽財經大学	2015. 4. 28	留学(受入)、学生交流
	国 <small>かきよう</small> 華僑大学	2015. 11. 12	留学(受入)、学生交流
	国 内モンゴル工業大学	2018. 9. 2	学術研究、学生交流
	公 北京農学院	2019. 5. 27	学術研究、学生交流
	国 北京語言大学	2022. 10. 4	学術研究、学生交流
	国 <small>ねいか</small> 寧夏工科大学	2024. 8. 5	学生交流
韓国	私 <small>うるさん</small> 蔚山大学校	2001. 5. 9	学術研究、留学(交換)、海外短期研修、学生交流
	道 慶北道立大学校 (旧：慶道大学校)	2001. 9. 12	学生交流
	私 <small>けみよん</small> 啓明大学校	2011. 6. 1	学術研究、留学(交換)、海外短期研修、学生交流
	私 <small>べじょ</small> 培材大学校	2013. 4. 26	学術研究、留学(交換)
	私 <small>てくはに</small> 大邱韓医大学校	2014. 2. 4	学術研究、海外短期研修、学生交流【出雲C】
	私 <small>せじょん</small> 世宗大学校	2016. 8. 31	留学(交換)
	私 <small>こうりよ</small> 高麗大学校 グローバル日本研究院	2017. 6. 2	学術研究
	私 <small>かんうおん</small> 江原大学校 人文科学研究所	2017. 11. 17	学術研究
	私 <small>てくほごん</small> 大邱保健大学校	2018. 11. 5	学術研究、学生交流【出雲C】
	私 <small>くんみん</small> 国民大学校	2023. 7. 14	学術研究、学生交流
モンゴル	国 <small>モンゴル国立科技術大学(人文部院)</small>	2008. 6. 26	学術研究
ロシア	国 ロシア海洋国立大学	2010. 8. 27	留学(交換)、学生交流
	国 <small>タタールスタン共和国科アカデミー 歴史研究所</small>	2015. 1. 23	学術研究
台湾	国 台中科技大学	2014. 11. 14	留学(交換)、海外短期研修、学生交流
	私 世新大学	2016. 6. 17	留学(交換)、学生交流
	私 中山医学大学	2020. 7. 14	学術研究【出雲C】
	私 台北医学大学 護理学院・栄養学院	2020. 9. 17	学術研究【出雲C】
インド	私 アチャリヤ経営科学大学(AIMS)	2015. 7. 7	学生交流
カナダ	州 ランガラ・カレッジ	2018. 3. 31	学術研究、海外短期研修
マレーシア	私 アジアパンフィック大学	2019. 1. 4	留学(派遣)、海外短期研修
インドネシア	私 クリダワチャナクリスチャン大学	2019. 11. 20	学術研究、学生交流【出雲C】
	インドネシア栄養学会	2019. 11. 21	学術研究、学生交流【出雲C】
フィリピン	ラブラブセブ国際大学	2024. 10. 11	学生交流

2 留学

本学は、大学憲章に「北東アジアをはじめとする国際社会の発展に寄与する大学づくり」を目標として掲げており、国際的な視野を持ち多様な価値観を認める人材を育成するため、学生のみなさんの留学を支援しています。

(1) 留学の種類について

本学に在籍しながら海外の大学に留学するには、学則第 25 条の留学許可を得て行く場合（協定留学、認定留学）と学則第 26 条の休学許可を得て行く場合（休学留学）があります。

ア. 学則第 25 条による許可（留学許可）を受けて行く場合＜25 条留学＞

25 条留学には、次の 2 種類があります。いずれも学長の許可を得る必要があります。

- 協定留学…本学と海外大学等が学生交流の覚書等を締結し、学内で選考した優秀な学生を留学させるもの
- 認定留学…学生本人が希望する留学先を選定・出願し、その入学許可証を得て留学することを許可して留学させるもの

イ. 学則第 26 条の許可（休学許可）を受けて行く場合＜26 条留学＞

学則第 25 条で規定する留学に該当しない海外大学等での学修は、休学許可を得てから留学することになります。この場合も学長の許可を得る必要があります。

ウ. 25 条留学と 26 条留学の制度上の違い

	手続き	卒業に必要な在学年数	本学の授業料	卒業要件としての単位
25 条留学	留学願	算入できる	徴収する	審査により認められる
26 条留学	休学願	算入できない	徴収しない	認められない

(2) 協定留学について

ア. 協定留学スケジュール（予定）

※変更の場合があります。詳細はオリエンテーションのときにお知らせします。

〈秋季派遣〉		〈春季派遣〉	
12 月	・オリエンテーション→受付開始	7 月	・オリエンテーション→受付開始
1 月	・学内公募出願締切	9 月	・学内公募出願締切
2 月	・学内選考試験（面接試験）実施 →協定留学候補者を決定	10 月	・学内選考試験（面接試験）実施 →協定留学候補者を決定
6 月	・入学許可書発行 （以後、各自でビザ申請）	12 月	・入学許可書発行 （以後、各自でビザ申請）
7 月	・ゼミ・演習科目担当教員と、留学中の 指導計画を決定	1 月	・ゼミ・演習科目担当教員と、留学中の 指導計画を決定
8～9 月	・渡航、留学開始	2～3 月	・渡航、留学開始

※各大学により派遣期間が異なります

イ. 協定留学先について ※詳細は、オリエンテーション時にお知らせします。

地 域	大学名	大学概要 (所在地・学生数・学部数)	授業料	備 考
アメリカ	セントラル ワシントン 大学	・ワシントン州エレンズバーグ市 ・約 11,000 人 ・ 4 学部	・本学と留学先大学 の両方に納付が必要	・ 附属英語学校あり
	ワナチバレー カレッジ	・ワシントン州ワナチ市 ・約 6,000 人 ・ 6 学部	・本学と留学先大学 の両方に納付が必要	・ 留学生用の英語科目あり
	イースト カロライナ 大学	・ノースカロライナ州グリーン ビル市 ・約 28,000 人 ・ 9 学部	・本学と留学先大学 の両方に納付が必要	・ 附属英語学校への 留学
中国	中央民族大学	・北京市 ・約 16,000 人 ・ 23 学部	・ 協定により免除	
	吉林大学	・吉林省長春市 ・約 66,000 人 ・ 12 学部	・ 交流県制度により 授業料と寮費 免除	・ 吉林省より奨学金 の支給あり
台湾	台中科技大学	・台中市 ・約 7,000 人 ・ 5 学部	・ 協定により免除	
	世新大学	・台北市 ・約 11,000 人 ・ 4 学部	・ 協定により免除	
韓国	蔚山大学校	・蔚山広域市 ・約 15,000 人 ・ 12 学部	・ 協定により免除	・ダブルディグリー 制度あり
	啓明大学校	・大邱広域市 ・約 26,000 人 ・ 19 学部	・ 協定により免除	
	培材大学校	・大田広域市 ・約 14,000 人 ・ 10 学部	・ 協定により免除	
	世宗大学校	・ソウル特別市 ・約 11,000 人 ・ 9 学部	・ 協定により免除	
	国民大学校	・ソウル特別市 ・約 15,000 人 ・ 16 学部	・ 協定により免除	
ロシア	ロシア海洋 国立大学	・沿海地方ウラジオストク市 ・約 5,000 人 ・ 14 学部	・ 協定により免除	
マレーシア	Asia Pacific University of Technology & Inovation	・クアラルンプール ・約 10,000 人 ・ 8 学部	・本学と留学先大学 の両方に納付が必要	・ 附属英語学校あり

※上記内容は、留学先の事情により変更する可能性があります。

※上記以外に、ビザ取得費用、渡航費、海外留学保険料、生活費等が必要となります。

※語学要件を設定している場合があります。

(3) 留学の手続きについて

	協定留学	認定留学	休学留学
1. 出願資格	留学開始までに本学に1年以上在学し、卒業要件科目の単位を30単位以上取得する見込みがある者。	①留学開始までに本学に1年以上在学し、卒業要件科目の単位を30単位以上取得する見込みがある者。 ②留学希望大学からの入学許可書を得ている者、又は得る見込みがある者。	特になし。
2. 出願方法	学内で公募を行う。	原則として、留学出発月の6ヶ月前までに必要書類を揃えて申請すること。 <申請に必要な書類> ①留学願 ②留学先大学の入学許可書(写) ③成績証明書 ④健康診断書 ⑤留学先大学での身分及び単位取得可能性を示すもの ⑥留学先大学での大学案内及び授業科目の内容がわかるもの ⑦留学期間中の履修計画書 ⑧語学能力を客観的に評価できる書類(該当者のみ) ※②は取得し次第提出	原則として、留学出発月の6ヶ月前までに必要書類を揃えて申請すること(P10参照)。 <申請に必要な書類> ①休学願 ②留学先大学の入学許可書(写)等
3. 留学期間	6ヶ月又は1年以内。 ダブル・ディグリー制度の場合2年。	1年以内。	同左
4. 履修範囲	留学先で正規課程の授業を履修し、単位を修得する必要がある。	同左	特になし。
5. 単位認定	留学先で修得した単位は、40単位を上限に卒業要件単位として認定を受けることが可能。 ※単位数は変更する場合がある。	同左	単位認定は行わない。
6. 授業料等	留学期間中は、本学及び留学先大学の両方に授業料等を全額納付しなければならない。 また、寮費等の生活費は全額自己負担となる。 ※ただし、協定により留学先の授業料等が免除される場合がある。	留学期間中は、本学及び留学先大学の両方に授業料等を全額納付しなければならない。 また、寮費等の生活費は全額自己負担となる。	留学期間中は、留学先の授業料のみ支払う。
7. 奨学金	本学の海外留学奨学金制度(給付型)を申請可能(選考あり)。	本学の海外留学奨学金制度は適用されないため、政府等が実施する制度を各自で確認すること。	同左
8. 留学期間中及び留学終了後の手続き	ゼミ担当・もしくは演習科目教員の指導を受けること。 留学先での単位修得状況や学生生活等について、適宜報告を求められることがある。	同左	留学中はゼミ担当・もしくは演習科目教員と、適宜連絡を取り合うこと。留学終了後は、速やかに復学願を提出すること。
9. その他	留学期間中も本学の学則が適用される。 留学期間は、本学の卒業に必要な在籍期間に参入される。 学研災付帯海外留学保険への加入が必要(留学先大学によっては先方の指定する保険に加入する必要があるため、各自確認すること)。留学する国・地域により加入内容が異なるので、各自確認すること。	同左	留学期間中も本学の学則が適用される。 休学中(留学中)は本学の在学期間には算入されない。 学研災付帯海外留学保険への加入が必要な場合や、留学先大学によっては先方の指定する保険に加入する必要があるため、各自確認すること。留学する国・地域により加入内容が異なるので、各自確認すること。
10. 帰国後の手続き	報告書の提出や修得単位認定申請に関連する書類(留学先が発行する成績証明書等)を提出すること。	同左	特になし。 (留学報告書等の提出を求めることがある。)

※内容に修正がある場合は、適宜お知らせします。

※不明な点については、連携交流課(メディアセンター2階)までお問い合わせください。

3 海外短期研修

(1) 異文化理解

異文化（日本とは異なる文化）への理解力向上を主たる目的としています。研修中は語学の授業もあります。詳しくはシラバスで確認してください。

研修先及び費用について（2024 年度実績）

研修先	研修期間	参加費用	県大奨学金（給付）
アメリカ （ホノルル市）	3/3～3/25	41 万円	参加費用の 1/5 程度
カナダ （バンクーバー市）	8/2～8/27	71 万円	参加費用の 1/5 程度
中国 （北京市）	8/1～8/30	35 万円	参加費用の 1/5 程度
韓国 （蔚山広域市・ソウル市）	8/4～8/24	36.3 万円	参加費用の 1/5 程度
エストニア	8/5～8/19 8/17～9/14	45 万円～ 65 万円	参加費用の 1/5 程度

- ※1 海外旅行保険や個人の食事代など別途費用がかかります。
- ※2 アメリカの日程、金額は 2019 年度実績です。なお、2020～2024 年度の実施は中止となりました。
- ※3 社会情勢、感染症等の状況により中止となる場合があります。
- ※4 参加費用とは、研修費用と渡航費の合計額です。
- ※5 申し込み状況等により、研修先が変更になる場合があります。

韓国（蔚山）



アメリカ（ホノルル）



中国（北京）



ロシア（ウラジオストク）



カナダ（バンクーバー）

◇海外研修等奨学金制度

本学では、海外での学びのチャンスを広げるため、海外研修に参加する学生全員に参加費用の一部を助成する奨学金制度を設けています。

(2) 海外語学研修

語学運用能力の向上を主たる目的としています。引率者の同行はありません。詳しくはシラバスで確認してください。

※1 参加費用には、生活費、海外旅行保険料等は含まれません。

※2 「島根県立大学海外研修等奨学金」の給付額は、年度により異なります。

※3 社会情勢、感染症等の状況により中止となる場合があります。

※4 参加費用は研修費用と渡航費用の合計額です。

※5 研修先が変更となる場合があります。

ア. 海外英語研修

研修先	研修期間	研修費用	奨学金	募集時期
アジア・パシフィック大学 (マレーシア)	2月下旬～3月下旬	未定	参加費用の1/5程度	<秋学期> 10月

イ. 海外韓国語研修

研修先	研修期間	研修費用	奨学金	募集時期
啓明大学校 (韓国)	8月上旬～中旬	未定	参加費用の1/5程度	<春学期> 4月

ウ. 海外中国語研修

研修先	研修期間	研修費用	奨学金	募集時期
北京語言大学 (中国)	8月上旬～9月上旬	未定	参加費用の1/5程度	<春学期> 4月

エ. 海外ロシア語研修

研修先	研修期間	研修費用	奨学金	募集時期
キルギス	(調整中)	未定	参加費用の1/5程度	<春学期> 6月

(3) 島根県立大学グローバル人材育成支援事業

島根県立大学が実施する、学生の海外活動を支援する制度です。海外での実践活動にあたって、「島根県グローバル人材育成支援事業（旧トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム～「地域人材コース」）の仕組みを活用し、海外または国内での事前調査等の実践活動を行う際に必要な経費を支援します。

募集枠	活動場所	活動期間	補助金（上限）	募集時期
海外活動枠	自由	連続した3日以上の活動	30万円/枠×4枠	4月～5月
国内活動枠			10万円/枠×3枠	

※事業詳細は募集要項等で確認してください

(4) その他の海外短期研修

本学と交流協定を締結している諸外国の大学で開催するプログラムや、日本政府や各省庁、島根県が主催する海外派遣プログラムに応募して短期間留学することができます。

募集情報は、学内メールや掲示板で情報提供しています。

プログラム名		派遣国 (大学)	時期	期間	内容	募集 時期
青年交流の翼・中国寧夏プログラム		中国	8月	約1週間	ディスカッション、 文化交流	5月頃
日独青年リーダー交流事業		ドイツ	9月	約2週間	ディスカッション、 現地視察、 文化交流、 ホームステイ 等	4月頃
内 閣 府 主 催	国際社会青年育成事業	欧州地域	9月	約3週間		2月～ 4月頃
	日本・韓国青年親善交流事業	韓国	10月	約2週間		
	日本・中国青年親善交流事業	中国	11月	約2週間		
	東南アジア青年の船事業	ASEAN諸国	1月～ 2月	約1ヶ月		
	世界青年の船事業	世界各国	2月～ 3月	約1ヶ月		



東南アジア青年の船事業



国際青年育成事業



日本・中国青年親善交流事業



青年交流の翼 中国プログラム



日独青年リーダー交流事業

4 学内における国際交流

本学では世界7カ国以上の国と地域から、留学生を受け入れています。
随時イベントや募集案内をしますので、積極的に参加・交流してください。

本学に在籍する留学生と交流しよう！

本学に在籍する留学生と気軽に交流を楽しむための様々なイベントを企画し、日本の学生と留学生をつなぐサポートをしています。



学内での交流の様子
(ラーニング・commonsにて)



学外での交流の様子
('ホーランエンヤを見に行こう！'
道の駅「キララ多伎」にて)

◇「国際交流会館サポーター」(P29を参照)

浜田キャンパスの「国際交流会館(寮)」では、本学に在籍する留学生と一緒に生活することができます。日々の生活で国際性を養い、留学生の日本語力向上や日常生活をサポートしながら寮を自主的に運営することができるサポーターを、毎年募集しています。

※10月頃、メール等で募集します。

短期留学生等と交流しよう！

◇日本語・日本文化研修生のサポーター

日本語や日本の文化を学ぶ留学生が、本学に約3週間、滞在します。日本語授業のサポートや学内外での交流を通して、やさしい日本語で交流しましょう。



日本語授業の様子



学外での交流

